



## 石中生のあたりまえ

校長 小菅 みちる

令和5年度がはじまりました。70人の新入生を加え、全校で206人でのスタートです。生徒はそれぞれ、新しい気持ちで新しい学年を迎えました。いまのフレッシュな気持ちを忘れずに、何事にも精一杯取り組んでほしいと思っています。

6日の始業式には2、3年生に向けて、「新しい気持ちで色々なことに挑戦しましょう」と話しました。その上で「ABCの話」をしました。「ABC」とは「A：あたりまえのことを B：ばかにしないで C：ちゃんとやる」こと。これを忘れずに実行しましょう、という話でした。あたりまえのことって、色々あります。今日は、「石川台中学校の生徒にとってのあたりまえ」を3つあげておきます。

### 【石中生のあたりまえ】

- ① あいさつ・返事は元気よく！
- ② チャイム始業！
- ③ 自ら正す『フォーマルゾーン』・人を認める『デイリーライフ』



①と②については、すぐにイメージできますね。うれしいことに、もうすでにたくさんの生徒にとっての「あたりまえ」になっています。では、③はどういう意味でしょうか。これは、正式な場・公的な場であるかを自分できちんと判断し、その場にふさわしい言動をとるということです。そして毎日『デイリーライフ』（C組は連絡帳）に一日の振り返りを記入することを通して、自分を進化させ、多様な他者を知り、人を認めることにつなげるということです。この3つが「あたりまえ」となる石中生でいてほしいと思います。

これからはじまる学校生活。生徒一人一人が主体的に取り組み、実りあるものにしていくことができるよう、教職員一同、一丸となってまいります。

保護者のみなさま、一年間、どうぞよろしくお願いいたします。



### 第69回 入学式 式辞

美しく咲いた桜の中、本日ここに、本校第69回入学式を挙げるにあたり、公私ともにご多用の中、父母と教師の会 会長 伊藤 臣彦（いとうきよひこ）様をはじめ、たくさんのご来賓の皆様方のご臨席を賜りましたことを高い席からではございますが、心より感謝と御礼申し上げます。

さて、70名の新入生のみなさん ご入学おめでとうございます。明るく規律ある学校、石川台中学校へようこそ。本校の教育目標は、思考力に富む、実行力のある、情操豊かな生徒を育てるというものです。

今日から皆さんは、この石川台中学校でたくさんのことを学びます。新しい知識との出会い、友だちとの出会い、感動との出会いなどを通して、人生の中で最も大きく成長するのが、中学生時代です。

では、学校生活を充実したものにするために大切なことは何か、と聞かれたらみなさん

はどう答えるでしょう。

私は、次にあげる2つのことを大切にしてほしいとみなさんにお伝えします。

1つ目は、あいさつをすることです。明るく気持ちのよいあいさつをすることです。もちろん、声を出すのが苦手な人や、面倒だなと思う人もいるかもしれませんが、私たち人間は、一人では生きていくことはできず、必ず誰かと関わりがあります。そこで必要なのがコミュニケーションです。あいさつは、コミュニケーションの第一歩。そして、「おはようございます」や「ありがとう」といったあいさつは、とても短い言葉ですが、相手の気持ちを一瞬で幸せにすることができる魔法の言葉なのです。そのことを忘れずに、様々な場面でのあいさつを大切にしていきましょう。

2つ目は、違いを認める、ということです。集団で生活する学校には、いろいろな人がいます。自分とは性格が違う、体格が違う、好みがちがう、考え方やものの受け取り方、感じ方が違う人がいます。でも、それが当たり前のことです。ですから、無理に合わせる必要はありませんし、また、違うことを責めたり仲間はずれにしたりするのはおかしなことです。違うからこそおもしろい。自分の知らない自分を発見するチャンスにしてください。違いを認め合うということは、お互いを高め合うことにつながるのです。

今こうして新しい出会いが生まれたことに感謝し、これから始まる3年間の1日1日を大切に、努力してほしいと思います。努力は必ずあなたの力になって返ってきます。

わからないことがあったり、困ったりしたときには、先生方はもちろんですが、ここに座っている2年生、3年生の先輩にきいてください。上級生は皆さんのお手本です。どんなことでも親切に教えてくれると思います。この立派な入学式の会場も、心を込めて準備してくれました。しっかりと学習に取り組むことができ、仲のよい頼りになる立派な上級生です。

皆さんも、このすばらしい石川台中学校の生徒になったことに誇りをもち、本校のシンボルであるけやきの木のように大空に両手を伸ばし夢をもって中学校生活をスタートさせてほしいと願っています。

保護者の皆様、お子様の中学校ご入学、本当におめでとうございます。6年間の小学校課程を無事終了され、真新しい制服に身を包まれたお子様の晴れ姿に、そのお慶びは計り知れないものがあると存じます。大切なお子様を教職員一同、今しっかりとお預かりいたしました。一人一人を大切に育ててまいります。子どもたちは、この3年間で、心も体も大きく成長します。その中で、失敗したり悩んだりして、心が揺らぐときがあるかもしれませんが、保護者のみなさまにおかれましても、あたたかく励ましながら自立を促すという視点で子どもと関わっていただけたらと思っています。

結びに、本校の教育に力強いご支援をいただいておりますご来賓の皆様にご改めて感謝申し上げますとともに、今後とも本校の子どもたちに温かなお力添えを賜りますこと、重ねてお願い申し上げます、私の式辞といたします。

令和5年4月7日

大田区立石川台中学校 校長 小菅 みちる

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・きりとり・・・・・・・・・・・・・・・・

学校だより4月号

感想などありましたらお書きください。お名前を伏せて掲載させていただくことができます。

年 組 生徒氏名